

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	生命科学	科目コード	M220801		
担 当 者	松元英理子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	4.4	4.4	4.2	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>1年後期になって、「難しい科目が増えてどうしよう」と思った方は多かったと思います。この時期は、専門科目（検査学）を学ぶために必要不可欠な基礎知識を積み上げていく時期でもあります。</p> <p>「生命科学」は恐ろしい勢いで進んでいる分野で、テキストの内容もどんどん書き換えられています。また特に授業の後半に学んだ内容は、これから皆さんが専門科目で疾患の成り立ちと診断・治療を理解するうえで重要になってくる部分です。</p> <p>2年になると専門科目も増えて、今まで以上に授業外学修の重要性が増してきます。「生命科学」でつけた学修習慣をキープして先に進んでいってください。学び続けることで興味もわいてきます。</p> <p>・皆さんのコメントで評価していただいた点は、スライド、スライド（PDF）の manaba での公開、毎回の manaba 小テスト、配布資料、クイズ（せ～の～ドン！？）などでした。小テストやくずを挙げていただいたところから、皆さんの勉強しようという意欲が伝わってきます。</p> <p>さあ、次は2年後期の「遺伝子・染色体検査学」です。更に難しくなりますが、お互い頑張りましょう。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	基礎分析実習	科目コード	M220901		
担 当 者	溝越 祐志、坊垣 美也子、山本 佐知雄				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.5	4.2	4.4	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>実習お疲れさまでした。</p> <p>教員側も初めての实習であり、数多くの不手際の中皆様にも不便をかけながら行ってもらったこと申し訳なく思っています。</p> <p>さて授業評価の結果ですが、カテゴリー I 学生自身（学習時間、意欲）が最も高いことから、皆さんが実習に多くの時間とエネルギーを注いで下さったことが伝わってきます。難解な結果をレポートにまとめ上げるのもお疲れさまでした。</p> <p>以下皆様からいただいた改善のコメントとそれに対する来年度の対策を書いておきます。コメントを書いてくださった皆様、とても貴重なご意見ありがとうございました。教員としては、改善コメントが一番参考になりますし、有難いことですので、ぜひ次年度に生かしていきたいと思ひます。</p> <p>改善すべきと思ひった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートループリックが分かりにくかった。 → ループリックの形式を、要素と評価に分けるようにしようと思ひます。また、ループリックのみではなく、実験の考察内容も、なるべく一つの結果に対して一つの因子のみの評価となるように設計し、考察しやすいように設計していきたいと思ひています。 ・時間が超過もしくは短いときがあった。 → 時間の超過については、本当に申し訳ございませんでした。皆様の貴重は時間を奪ってしまいました。今年度は初めてということもあり、時間の尺がイメージ出来ていませんでしたが、今年度の実習をうけ、来年度は内容の簡素化を計ろうと思ひています。 ・演習時の課題の説明が分かりにくかった。 → 演習時の課題については、こちらとしても伝わっていないのを肌で痛感して思ひました。今回をうけ、どのあたりがわからなかったのか、どの説明を補強すべきか、こちらで推察しますので、資料や授業説明の見直しを計っていきます。 <p>教室で改善すべき点</p>					

・実験器具、試薬が足りず、実習の終了が遅くなった。

→ 実験器具はできるだけ買い足そうと思います。試薬は教員のミスでした。申し訳ございません。

・実習室が狭く、実習がやりづらかった。

→ 他の学年の実習の関係で、実習室は狭いままとなります。ただ、視聴覚が見にくかったと思いますので、実習の部屋では zoom などを用いて皆様の手元で資料を見えるように工夫したいと思っています。

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	解剖組織学	科目コード	M221301		
担 当 者	新谷 路子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.0	4.0	4.1	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。</p> <p>アンケートの自由記載欄には、『プリントが丁寧で分かりやすかった』という意見と、『印刷の方向がバラバラで整理しにくかった』という意見がありました。プリント類の内容、体裁、分量を見直し、視覚的により分かりやすくなるよう改良を続けて行きます。また、必要と思われるものは manaba にアップし、自己学修に利用していただけるようにしたいと思います。授業内容のうち、重要なものについて特に強調し、理解を促したいと思います。</p> <p>2年次では、病理学と基礎検査学・基礎検査学実習でお目にかかります。どの科目も、解剖学の知識が必要とされますので、解剖学を振り返りながら進めていきたいと思ひます。今回使用した教科書「最新臨床検査講座・解剖学」は、200 ページとコンパクトにまとめられており、2 色刷りの図もシンプルで見やすいと思ひます。今後も時間があるときは、繰り返し読んで下さい。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	遺伝学	科目コード	M222401		
担 当 者	坂本秀生				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.4	4.5	4.3	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>古典的遺伝学と分子遺伝学のうち、臨床検査技師は主に分子遺伝学に関わることが多くなりますが、古典的遺伝学の基本も抑えていれば、理解がさらに進みます。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	公衆衛生学 II	科目コード	M224101		
担 当 者	栃倉匡文				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.1	4.0	4.0	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>感染症対策、介護保険、食中毒、喫煙問題など公衆衛生学は私たちの生活に密接に関わっています。日頃から公衆衛生に関する情報に興味を持つようにしましょう。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	医療工学実習	科目コード	M225202		
担 当 者	関 雅幸				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.4	3.9	3.9	4.0	4.0	
学生へのメッセージ					
<p>学生による授業評価調査は「授業の進行速度は適切だった。」や「毎回の授業内容はよくまとまっていて、よく理解できた。」という事柄に対して課題が残る結果となりました。レポートを手書きとしていることに対する意見がありましたが、事前に説明したと思いますが、人のレポートをコピーする人たちがほかの実習で以前いたからです。デジタルデータをコピーしては何も勉強にはなりません。自分はやらないと思う人もいるかもしれませんが、コピーしている人が自分と同じ点数だったとするとどうでしょう。大変だと思いますが、効率よくレポートを書く方法を見つけてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	公衆衛生学	科目コード	R111001		
担 当 者	溝越 祐志				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.5	4.6	4.3	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>8 回分の講義お疲れ様でした。公衆衛生と聞くと、少し皆さんの専門からは外れているかなと思う学生さんが多いかもしれません。ただ、歴史を振り返ると、昔から感染症と闘ってきた我々人類にとって、この公衆衛生の分野というものは、人類を守るうえでとても大切な分野であることがわかります。コロナウイルスに関する予防に関しても、この公衆衛生学の知識がふんだんに利用されています。8回の授業は国家試験をベースに講義を行いましたので、公衆衛生学の楽しさと大切さというものを存分に伝えることはできなかったと思いますが、とても大切な学問であるということは知っておいてほしいです。</p> <p>定期試験、小テスト共にとてもよく勉強いる人が多かったと感じています。問題としては国家試験に対応できるだけの問題は出したつもりですので、その知識を維持し続けることができるならば、国家試験に臨むだけの力は十分あるので自信を持ってください。とはいえ、3年後まで本講義知識を覚えているという人は少ないと思いますので、4年生になったらまた覚えなおしましょう。今後の皆様の頑張りを期待しております。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	環境生理学	科目コード	M223101		
担 当 者	堀江修				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.2	4.2	4.2	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価をいただきありがとうございます。授業内容、授業方法、学習の成果、総合評価共に学科平均とほぼ同等だったことから、第一種衛生管理者免許選択科目でありながら臨床検査技師教育が中心の教科立ての中では健闘したと思います。「授業以外に学習した時間」の項目でかなり低い評価であったので、科目自体に興味をもってもらい、この評価を上げるようにすればかなり高評価につながると感じています。カリキュラム変更に伴って当科目の意味が私自身さらに理解できたので、臨床検査技師教育にプラスとなることを大きくアピールして、自宅学習の時間を増してもらいたいです。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	臨床病理検査	科目コード	M230001		
担 当 者	畠 榮				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>病理診断は病理組織診断と細胞診に大別される。医療現場では正確な診断を可能とする各種標本作製と細胞判定が臨床検査技師に強く求められている。臨床病理検査学では、形態学的手法・手法とその理論を理解し、病理形態検査の意義と役割を修得する。そのためにも、「なぜこの染色をしなければならないか」という疑問を常に持ち、その目的、結果を理解することが重要である。臨床病理検査学では、実際の臓器の肉眼的所見、病理組織学的所見を背景とし、病理診断医と臨床検査技師が診断業務にどのような係るかを理解、修得してほしい。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	臨床化学検査学 I	科目コード	M231001		
担 当 者	林伸英				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.1	4.1	4.2	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>臨床化学検査学（I・II）は国試に出題されてきた内容および重要な事項を理解してもらうために、教科書にそって講義をつくる必要があると考えています。しかし、教科書を使った内容が中心になってしまうと、平坦で退屈な授業になってしまいがちです。そうならないように、動画の教材やスライドを使ったプレゼンを挟み込みながら授業をしました。今後もわかりやすい授業になるように努めます。この授業でよいと思った点に「教科書にマーカーを引いて予習した点」「教科書にそった授業でわかりやすかった。」とあり、ラインマーカーを引いた教科書の PDF をアップして事前に予習しておくことが授業の理解度をあげ、小テストの実施で重要な部分の再確認が行え復習できる進め方がよかったと思っています。一方で「すべて大切なのだと思いますが、マーカーが引いてある部分が多く、どこが重要かわかりづらい気がしました。」と意見もありました。マーカー色を2種類にして重要な箇所をわかるよう工夫をしていたつもりであります。あなた方が3年生になって B6 カードを使うようになると国試の過去問とマーカーの箇所が一致し、マーカーをした意義がわかってもらえるように思っています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	遺伝子・染色体検査学	科目コード	M231301		
担 当 者	松元英理子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.1	4.4	4.4	4.5	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>お疲れ様でした。毎回の manaba 小テストに加えて紙ベースの演習課題もあり、講義科目にしては課題が多いなと感じていたと思います。これを乗り越えた皆さんは、きっと遺伝子検査の基本原理はマスターして、新型コロナウイルスの PCR 検査と抗原検査の違いを家族に説明できるようになっているはず(?)</p> <p>授業では、最新の遺伝子検査の話題にも触れましたが、重点は基本的な解析原理の理解に置きました。最新の遺伝子検査を理解するためには、基盤となる解析法の徹底的な理解が必要だという考えからです。皆さんが医療の現場で新しい課題に直面した時に要求されるのは、「自分自身の力で調べ・考え・解決する」ことです。医療の専門家として問題解決にあたる時、解析原理を深く理解したうえで、「考える→参考資料を探す→資料を読む→考える→人に聞く→考える→ディスカッションする→考える…」と、あらゆる手を使って諦めずに前に進めるよう、専門的な知識とともに「考える力」もつけていってください。</p> <p>手っ取り早く知識を得る「タイプ」だけを求めているは「考える力」は身に付きません。面倒でも時間をかけて考える経験を積んでいってください。</p> <p>多くの方からコメントを頂きました。ありがとう。</p> <p>肯定的な意見としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布資料、スライド (PDF) の manaba での公開、課題、練習問題、話し方などが評価されていました。 <p>改善点としては…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクの使い方→両手を使ってパフォーマンス? するためピンマイクを使用していますが…ハンドマイクの方が聞きやすかったでしょうか。 ・配布資料の書き込み欄のサイズ→配慮しているつもりなのですが、具体的にどこか教えてくださいと改善できます。 ・PDF を授業前に公開してほしい→授業でも説明しましたが、質問を投げかける回は皆さんに考えていただくため、先に答えを公開しない方針です。理解してください。 					

次は3年前期の「遺伝子・染色体検査学実習」です。実験して→データを出して→「考える」ことの連続です。頑張りましょう！

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	基礎検査学実習	科目コード	M231601		
担 当 者	新谷 路子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.5	4.5	4.3	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。</p> <p>昨年度の授業評価アンケートの自由記載の中に、『実習室後方は機械のモーター音がうるさく、マイクを通して教員の声が聞きとり難かった』というコメントがあったため、今年度は十分注意をしたつもりでしたが、今年度も『聞こえにくい』、『映像が暗い』というコメントがありました。今後さらに、“説明は聞こえやすく、スライドは読み取りやすく”、を徹底していきます。</p> <p>また、『実習中に質問しやすかった』とのコメントは、大変有り難く、今後もそのようにありたいと思います。</p> <p>尿沈渣実習では、マイハンドブックを作成したことで基本的事項の整理ができたでしょうか。3年後期に臨地実習に出た際は、このマイハンドブックを大いに利用し、内容を追加していただければ嬉しいです。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	免疫検査学	科目コード	M232001		
担 当 者	鈴木 柝倉 赤澤				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.2	4.0	4.1	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>本授業評価のおかげで、授業の改善点がわかりました。ありがとうございました。プリント等をスクリーンに映す際に問題がないかの確認をしっかりと行いたいと思います。</p> <p>免疫検査学は免疫検査の原理と疾患との関連を勉強するものです。そのため専門的な話も出てきましたが、皆さんの試験結果をみると、本講義での内容の理解はある程度進んだと思います。本講義は3人の教員によるオムニバス形式ですので、いろいろな切り口で免疫検査学の内容を勉強することができて、理解が深まってくれたのではないかと期待しております。しかし、知識を完全に皆さんのものとして定着させるには、どうしても授業だけでは十分と言えず、皆さん自身が主体的に勉強する必要があります。</p> <p>これからは、免疫検査学の中で興味を持った分野あったら、自主的に図書館などで文献を探して、さらに発展的な勉強をしていってほしいと思います。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	生理機能検査学ⅡA	科目コード	M233201		
担 当 者	今西麻樹子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.2	4.4	4.5	4.4	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>前任の先生から引き継いだ、初めての講義でした。</p> <p>脳波に関しては、いろいろな波形が発生する機序が十分わかっていないところもありますが、決して難しいものではないと思います（脳波を読むのは難しいけど）。また、筋電図は神経系に関する基礎的事項を基に検査法が築かれているため、まずは基礎知識を十分に整理して、神経系疾患に関する基礎知識を学習しつつ、これらの疾患において各種検査を行うとどのような異常が出現するかを理解してください。</p> <p>8回授業に多くの内容を詰め込んだ授業となったので、何が何だかわからないうちに授業が終わったと思われた人も多かったのではと思います。私自身も授業構成・内容・進め方等、毎回の授業が終わるたびに、反省しきりでした。しかし、皆さんからは思いの外、高評価をいただき驚きました。皆さんからの評価を励みに、興味を持ってもらえる授業を目指します！</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	生理機能検査学ⅡB	科目コード	M233301		
担 当 者	松田正文、今西麻樹子（科目責任者）、杉山育代				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.9	3.4	3.5	3.7	3.5	
学生へのメッセージ					
<p>日本語能力、特に、他人に読んでもらう、あるいは、他人に分かってもらう文を書く能力、これを鍛えてください。（松田）</p> <p>考える力を身につけるためには基礎知識の蓄積が必要です。教科書を何度も読んでください。教室については、他学科・他学年の学生も狭い教室で受講している科目もあります。</p> <p>すべての科目が狭い教室での授業ではないので、仕方がないと思える心を持ってください。（今西）</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	生理機能検査学実習 I	科目コード	M233601		
担 当 者	杉山育代 田村周二 今西麻樹子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>学生の皆さん、 大学授業は高校までのものと比べると、授業方法も勉強方法も全く違います。そこで、大学では、今後以下の6つのことを心にとめて勉学に励んで下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教員の説明は一つ一つしっかりと聞き、必要なことは書き留めましょう！ 2. 実習後、図書館や教科書を使い、教員から聞いたことを文字で確認して理解を深めましょう！ 3. データ整理は、実習日のうちに必ず行いましょう。 4. 生理機能検査を解析するには公式はありません。想像力を働かせましょう！ 5. 波形の計測位置、名前、誘導部位、正常値は覚えるべきものです。覚えるべきものはちゃんと覚える努力により覚えましょう。 6. 自らの学修で、医学を楽しみましょう。 <p>授業をしている時に感じるのは、みなさんに欠けているのは想像することです。生理学や解剖学や生化学の基礎知識を活用して、身体が今どのようなになっているからこの波形や画像ができると考えることです。解析している意味を考え、データ解析から身体の中で何が起きているのか想像して下さい。例えば筋電図波形を見て刺激を強くしたら振幅が大きくなったら、たくさんの神経を刺激したからその支配筋が沢山動いたと想像してください。脳波波形を見て振幅が下がってきたら、脳神経細胞の活動が下がってきたので寝始めたと感動してください。腹部超音波画像を見てプローブの直下には私の身体も教科書で習った通りの臓器があるのだと感動してください。心電図をみたら、洞結節から足側に刺激が伝わるから、本当に aVR では P 波も QRS 波も T 波も陰性だと感激してください。想像することで記憶に残り理解が深まります。最後に、知り分かることは大変面白いものです。 生理検査はとて面白く楽しいものですよ。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	細胞培養演習	科目コード	M237601		
担 当 者	坂本秀生				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.3	4.8	4.8	4.9	5.0	
学生へのメッセージ					
<p>細胞培養は基本さえ押さえれば、難しいことでは無いと体験できたと思います。この経験を大事に、何事も取り組む姿勢を大事にされることを願っています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	BLS キャリアパス I	科目コード	M238001		
担 当 者	澁谷雪子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.2	4.2	4.3	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>ここ数年、新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、manaba を使用した内容を取り入れることが多かったですが、本年度は、全ての内容（レポート作成・提出を含め）を対面で行いました。各回、担当する教員が違うため、多くのアドバイスが得られる環境であったのではと思います。</p> <p>評価結果は、I 学生自身が 3.6（学科平均との比 0.88）、II 授業内容が 4.2（比 1.00）、III 授業方法 4.2（比 1.00）、IV 学習成果 4.3（比 1.00）、V 総合評価 4.3（比 1.00）でした。各設問では、「この授業に意欲的に参加した」が 4.28（比 1.18）と最も高評価、「この授業に関して、授業以外に学習した時間」が 1.80（比 0.85）と最も低評価でした。</p> <p>授業時間内に調べ、まとめる作業を行ったため、皆さんが「自ら学んでいる」と感じているが、授業以外に学習した時間が短かったと感じているのだと考えました。</p> <p>記述欄には、「グループワークで意見交換しながら考えた」、「自分で考える時間とみんなで話す時間があってよかった」など前向きな意見がありました。最初からグループで考える形式より、個々で考えたうえでグループワークをする方が効率的である、または話し合いをしやすいと感じているのでしょうか。話し合いをする際に、個々が考えることは必要なことだと思います。皆さんは、その姿勢・考えをもって、この授業を意欲的に取り組んだのだと感じました。</p> <p>3 年生から就職活動の準備を始めていきます。そして、4 年生では実践です。この授業で行った「理想の社会人になるには、今、何をすべきなのか」を引き続き考え、2 年後には理想の社会人（臨床検査技師）になってください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	臨床病理検査学実習 I	科目コード	M230101		
担 当 者	布引 治、畠 榮、佐野 太亮				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.6	4.4	4.4	4.5	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>学生の皆さん、病理の仕事って料理に似てませんか？包丁できばいて、まな板の上で細かく切る。一字違いですが基本的なところはよく似ています。臓器の断面に色をつけ顕微鏡でみる作業、皆さんの楽しそうに実習されている姿を思い出します。</p> <p>臨床検査技師のお仕事は皆さんが思っているほど頭でっちなものではありません。勉強はもっと楽しく学ぶべきと思います。この実習では、現場の雰囲気を伝える体験型になるよう心がけています。臨床現場のスリルをぜひ味わっていただきたい。薄切では少し熱が入りすぎましたが、皆さんが1年後臨地実習にて学ばれる時に役立つと思います。仕事は本当に面白いですよ。この科目を通じ技師の仕事のおもしろさ、素晴らしさを感じ取っていただけたら幸いです。</p> <p>改善すべき点へのコメントありがとう。全て改善に向け対応していきます。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	臨床検査学演習	科目コード	M		
担 当 者	澤村暢				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.5	4.4	4.4	4.5	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>臨地実習前の総仕上げとしての科目であり、実際の検査データから疾患を推察する実戦形式の授業がとても好評でした。これまで学修してきた様々なことを駆使して、疾患へアプローチしていく検査の面白さに触れられたと思います。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	ロボティクス演習	科目コード	M225501		
担 当 者	関 雅幸				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	4.7	4.6	5.0	5.0	
学生へのメッセージ					
<p>学生による授業評価調査は「板書、スライド、教材などの使い方は、わかりやすく適切だった。」や「学生の質問や意見への対応が十分になされていた。」等の事柄に対してやや課題が残るという結果になりました。レポートにはいろんな皆さんの工夫の様子を書いてもらいました。次年度の卒業研究は担当しませんが、ロボット作成でのトラブル解決が4年生での卒業研究や就職後の業務に取り組むためのいいトレーニングの場になったと振り返ってもらえたら幸いです。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	細胞検査学演習	科目コード	M230801		
担 当 者	布引 治、畠 榮、佐野 太亮				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.3	4.9	4.9	4.9	4.9	
学生へのメッセージ					
<p>この科目は前期の講義中心だった細胞検査学に続き、多くの細胞像をガラススライドとして実際に顕微鏡で供覧しました。臨床現場でしか得ることができない貴重な資料を提供しました。細胞検査は多くの細胞像をみることによって力がつきます。細胞の魅力にはまった方もおられるのではないのでしょうか。授業を通じ細胞検査士の仕事のおもしろさ、臨床検査の素晴らしさを感じ取っていただけたら幸いです。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	臨床化学検査学実習	科目コード	M231201		
担 当 者	林 伸英、坊垣美也子、澁谷雪子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>全てのカテゴリーにおいて、ほぼ高い評価でした。</p> <p>項目別では、「(学生自身) 授業 1 回あたりの平均時間」は2時間以上・1～2時間が全体の約9割を占め、レポートや課題に長い時間を費やしているものの、「(学生自身) この授業に意欲的に参加した」の評価が高く、前向きな姿勢がうかがわれました。「(授業内容) 授業の到達目標がシラバスや授業でわかりやすく示された」、「(授業方法) 毎回の授業内容はよくまとまっていて、よく理解できた」の評価が好評価であった。「(総合評価) この授業を受けて満足している」全体の91%が満足している結果で、この実習の内容や進め方について全体的に良好な評価が得られていました。また、この授業でよいと思った点に「授業の予習が動画でみられるのは後からも見返せるのでよかった。」「事前に動画をみてるので理解度や進み具合がよかった。」とのコメントが複数寄せられ、「実習に関連する講義」と「実習の具体的な操作」を遠隔授業で実施することは「自分のペースで」「じっくり」「何度も」「わかりやすい」の点で学生にとってよかったのではないのでしょうか。これからもわかりやすい進め方（遠隔を含んだ）で行い、興味深い実習になるよう心掛けていきます。「実習室の機械がうるさい時があった」とあった不具合の冷蔵庫は更新されました。</p> <p>グループワーク、発表の取り組みについては、学生自身が自分で調べ、考える姿勢をより身につけられたと思います。以前に「発表を聞いてもよくわからないものがあったので、最後に軽く解説をして欲しい」との意見がありましたので、発表後に教員からの解説を提示しました。わかりやすくなっていたと思います。</p> <p>班分けについては、皆さんがすべて満足できる班分けは難しいと思います。将来皆さんが働きだした時のことを考えて下さい。限られたスタッフの中で円滑に仕事をしていかなければなりませんから、その時の職場でのコミュニケーションの訓練だと思って色々と工夫してもらいたいと思います。</p> <p>レポート作成に時間をかけたのではと感じています。原理・結果・考察以外の操作・臨床的意義などは全てを書き写すのではなく、必要なところを自分で考え、まとめるようにして、</p>					

効率よくレポートを書くようにして行ってください。

遠隔で内容、操作の説明をし、皆さんが何を実習するのかを把握した後の対面実習であったため、自分で実験の流れを考え実験を行ったと思います。将来、社会人となり検査、研究をする際に、自分で計画し、実行していく力が必要となります。学内実習で学んだことを将来に活かしてください。また、これからも病態を含め、考える姿勢を続けて行ってください。(澁谷)

この実習は予め実習内容を動画などで確認した上で、対面の実習に臨むという方法で実施していますが、学生からは事前に動画を見てくることで授業の理解度や（実習の）進み具合が良かった、予習で内容を整理できる、動画を見返せるというコメントが複数ありました。学生が自分のペースで学修できるという利点が評価されたものだと思います。多様な学生がいる大学での学修に適した方法だと思います。

ただ、実社会における仕事の場面では、大学のようにそれぞれのペースで行うことが常に可能であるとは限りません。チームで協調して働く場面もあります。適切にポイントを押さえ、効率的に仕事を進める能力も必要になります。臨地実習の場での体験も踏まえ、4年生の1年間卒業研究や国家試験の勉強などを進めながら、どうすれば社会に出ても的確に仕事をこなし、自らの能力を発揮できるか考えてみましょう。(坊垣)

皆さんが就職し、実際の検査室で使用するのは自動分析装置です。ブラックボックス化して原理や操作を用手法で実施することは全くないと言ってよいでしょう。この点から、原理や基本的な操作を学ぶ実習は本当に大切なのです。実習の内容を心に刻み、レポートは大切に保存しておきなさい。将来、実習をやっていてよかったと思える日がきつくとくると思います。(林)

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	生理機能検査学演習	科目コード	M233801		
担 当 者	杉山育代 田村周二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.1	4.4	4.3	4.5	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>この科目は、生理機能検査の各項目全てを学修した上での生理機能検査の総まとめです。つまりこの科目で行うことは、M2～M3 前期までに学修した内容であり、絶対に理解して身につけていなければならないことです。ですから、授業は速く進んで当たり前のことです。この授業が理解できないということは、国家試験合格もままならないということをお覚してください。この授業を通じて、生理機能検査の苦手な部分を明確にし、面白いと思ったところはさらに勉強し、4 年生後期に始まる総合医学検査特論で教員が述べることは“分かっている”“知っている”とうなずきながら受講できるようにしてください。そうすれば国家試験合格が見えてきます。過去の多くの学生が4 年生後期に言うことは「生理機能検査学だけは、暗記だけでは対応できない。4 年生の9 月から真剣に勉強しても12 月になっても点数がなかなか伸びてこない。ちゃんと理解して考えないと点数が上がらない。」と言っています。これから4 年生になるみなさんはこのことを自覚して臨地実習が終わった3 月から復習を開始してくださいね。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科		学 年	3	
科 目 名	検体採取安全管理演習		科目コード	M234901	
担 当 者	今西麻樹子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	4.4	4.4	4.4	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>2015年に臨床検査技師の業務範囲に一定の検体採取が追加されました。</p> <p>厚生労働大臣指定講習会を受講し実施可能となりましたが、実際のところ、臨床検査技師が検体採取（鼻腔に綿棒を挿入して鼻咽頭ぬぐい液を採取）を担当することはあまりなかったと思います。しかし、2020年に新型コロナウイルス感染症による爆発的な流行が起こったことで、その状況は大きく変化しました。</p> <p>そして2021年から臨床検査技師が実施可能な検体採取として、①医療用吸引器を用いて鼻腔、口腔又は気管カニューレから喀痰を採取する行為、②内視鏡用生検鉗子を用いて消化管の病変部位の組織の一部を採取する行為が追加されました（検体採取以外での追加もあります）。皆さんは、臨床検査技師として働き始めてから厚生労働大臣指定講習会を受講することで上記行為が実施可能となります。</p> <p>国家資格への業務追加となるので、必ず受講しましょう！</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	分子感染制御学演習	科目コード	M236501		
担 当 者	鈴木 柝倉 溝越				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.6	4.8	4.8	4.8	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>分子感染制御学演習は実際の研究活動の一端を学生の皆さんと共に行うことを目的としています。皆さんの本授業への評価をみると、上記目的はほぼ達成されたのではないかと思います。これは皆さんが本演習授業に主体的な参加し、学修してくれたからだと思います。皆さんがこの演習授業で体得した様々なことを、これからの大学での学びに活かしていただければ、ありがたいと考えます。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	対人援助技術演習	科目コード	M236701		
担 当 者	江崎ひろみ				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.1	4.6	4.7	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>毎授業ごとのミニツツペーパーへのコメントや本授業評価のおかげで、授業の改善点がわかりました。ありがとうございました。</p> <p>本科目は M3 後期後半で、臨地実習直前の授業でした。臨地実習では臨床検査技師がどのように対象（患者やその家族）へ安心をもたらす安全・安楽な対応をされているのか学ばれることと思います。実際を見聞きして学ぶには、まずは観る視点が必要となります。本授業で得た基本的な知識を「観る視点」のひとつとしてもらい、自分で観る・気づく・考察する・工夫する・考えを伝える（記述する）ことに活かしてもらいたいと思います。また、衛生管理者として必要な知識（コミュニケーションなど精神衛生、腰痛予防対策、救命救急処置等）は、職場環境だけでなく日常生活の中でも必要とされる基礎知識です。「すべての授業にいろんな気づきをえる機会が盛り込まれており、とても楽しい。」という学生さんもおられ、日常生活の中で暮らす人にかかわる、専門職としての気づく力が醸成されているようで感心しました。（江崎）</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	予防医学概論	科目コード	M236801		
担 当 者	堀江修・堀江宏美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.4	4.4	4.4	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価をいただきありがとうございます。Ⅱ授業内容（4.4 / 4.2：当科目平均 / 学科平均とする）およびⅢ授業方法（4.4 / 4.2）、Ⅳ学習成果（4.4 / 4.3）およびⅤ総合評価（4.4 / 4.3）のように、学科平均を上回りました。この調子で授業を続けたいと思います。自由記載欄の表記から、外部講師の授業は予防医学に関することはもちろん、統計学やキャリア形成に繋がる話などとても高評価をいただいたことがわかりました。今後も豊富な経験を踏まえた話をしていただくようにします。「授業以外に学習した時間」の項目の評価が低かったので、無理のない範囲で課題を多くする対策を考えています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	文献購読	科目コード	M237001		
担 当 者	坂本秀生				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.2	4.6	4.8	4.7	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>英語論文はコツが分かると、知識を得るためにドンドン読みたくなります。なぜなら、知らない点を理解しすればさらに興味が更にわき、新たな疑問が生じてもっと調べたくなるからです。この習慣は自己成長の秘訣で、この体験を大事になさって下さい。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	先進医学検査学	科目コード	M237201		
担 当 者	坂本秀生				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.5	4.5	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>先進医学検査学では、多くの新しいことを学んだと思います。臨床検査の知識と技術を活かし、今度は皆さんが今度は臨床検査を発展させ、その楽しさを実感しましょう。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	バイオインフォマティクス	科目コード	M237501		
担 当 者	鈴木高史				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.5	4.6	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>本授業評価のおかげで、授業の改善点がわかりました。ありがとうございました。進度・内容に関しては、今回の授業で概ね問題ないということがわかりました。さらに、より利便性をあげるために解析用アプリケーションをコンピュータ室のより多くのコンピュータにインストールしたいと考えます。</p> <p>バイオインフォマティクス解析技術は近年の急激な進展により、ウェットの実験室解析を進める上で、なくてはならない技術・知識となってきました。授業で学修した内容を基礎として、これからも主体的に勉強を進めていってください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	医学検査サプリメント演習Ⅰ	科目コード	M238201		
担 当 者	畠 榮				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.6	4.1	4.1	4.5	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>臨地実習前に、臨床検査技師としての基礎知識が習得し、国家試験主要科目の総合的な理解度を各自が把握し、弱点項目を補強することを主目的とし学修するよう。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	4		
科 目 名	総合医学検査演習	科目コード	M234401		
担 当 者	坂本秀生				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.7	4.3	4.2	4.4	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>何事もいきなり本番では上手く行きません。総合医学検査演習を何度も行い、国試形式に慣れたように、何事も繰り返せば自信もついて目標を達成できます。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	4		
科 目 名	総合医学検査特論	科目コード	M238401		
担 当 者	坂本秀生				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	4.0	4.1	4.1	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>国家試験は基本を忠実に学修していれば、解けることを実感出来たと思います。これは今後の人生も同様であり、基本をしっかり行えば目的は達成できます。</p> <p>これからの人生も目的意識を持ち、社会の役に立てるように活躍を願っています</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	4		
科 目 名	卒業研究	科目コード	M236101		
担 当 者	坂本秀生				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.5	4.5	4.6	4.7	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>皆さんが意欲的に取り組まれたので、卒業研究は学生自身の評価が高いです。正解が無いとも言える卒業研究で、皆さんは知恵を出し合い、立派に成果をあげました。今後もチャレンジ精神を大事に、成長されることを願っています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1, 2		
科 目 名	公衆衛生学実習	科目コード	M224202		
担 当 者	栃倉匡文				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>アルコールバッチ試験では χ^2 検定をしてもらいました。保健統計の復習になったと思います。最後の水質検査ではレポート採点者が交代したことにより、これまでとは内容の違ったコメントを読んで戸惑った人がいたかもしれません。ご迷惑をおかけしましたが、皆さんからの授業評価は概ね良好でした。公衆衛生学は日々の暮らしに欠かせない実用的な学問です。日頃から公衆衛生の情報には興味を持つようにしてください。</p>					